慶應義塾大学大学院法務研究科主催シンポジウム

日本と東南アジアの比較法学教育

参加大学

タマサート大学法学部（タイ）、パニャサストラ大学 法・行政官理学部（カンボジア）
ホーチミン市ベトナム国立大学経済・法学校（ベトナム）、ハノイ法科大学（ベトナム）、
ラオス国立大学 法・政治学部（ラオス）、ヤンゴン大学 法学部（ミャンマー）

日時 2017年 3月4日（土）
13:00～17:30

場所 慶應義塾大学三田キャンパス南館
地下4階ディスタンスラーニング室

参加費無料

現在、アジア市場では、メコン地域諸国を中心に世界各国からの投資が急速に進んでいます。その一方で新たな法的課題にも直面しています。慶應義塾大学大学院法務研究科はこうした問題に対応できる法曹人材を育成するために、LL.Mを用いたメコン地域諸国大学との協働によるアジア発グローバル法務人材養成プログラム（PAGLEP）の形成に取り組んでおります。
その一環として、法学教育に関するシンポジウムを開催いたします。
メコン地域5カ国（ベトナム、カンボジア、ラオス、タイ、ミャンマー）の連携大学とともに法曹人材の育成や法学教育について議論する予定です。
関心のある方は奮ってご参加下さい。

プログラム

＊日・英同時通訳付きです

第1部 各大学による各国における法学教育の現状紹介

第2部 パネルディスカッション
アジア発グローバル法務人材の養成に向けて必要なこととは

第3部 全体討論
アジア発グローバル法務人材養成に向けた共通到達目標の設定

お申込み
慶應義塾大学大学院法務研究科グローバル法研究所（KEIGLAD）
http://keiglad.keio.ac.jp

KEIGLAD
Keio Institute for Global Law and Development